

「サステナブルな地下駅」を目指す田園都市線5駅リニューアルプロジェクト
「Green UNDER GROUND」がスタート
～第1弾として駒沢大学駅リニューアル工事に7月30日着工～

東急電鉄株式会社

当社は、脱炭素・循環型社会の貢献および地域に開かれた「サステナブルな地下駅」を目指し、田園都市線地下区間5駅(池尻大橋駅・三軒茶屋駅・駒沢大学駅・桜新町駅・用賀駅)のリニューアルプロジェクト「Green UNDER GROUND」(以下、本プロジェクト)を開始します。本プロジェクトの第1弾として、駒沢大学駅リニューアル工事に7月30日(金)着工します。

本プロジェクトは、鉄道の安全・安心向上を目的とする、田園都市線地下区間の5駅における設備更新工事に伴い、当社が2021年5月に策定した新・中期事業戦略も踏まえ、「脱炭素・循環型社会」の推進、地域とつながる駅空間「人、街、暮らしをつなげるプラットフォーム」を実現し、「サステナブルな地下駅」づくりを目指すものです。

また、プロジェクト名に含まれる「Green」は、田園都市線の路線カラーでもあり、「快適・安心」、「スムーズ」、「クリーン・サステナブル」、「親しみが生まれる」、「新しさがある」など、さまざまな想いが込められています。開業後40年以上が経過した田園都市線の地下区間5駅を、訪れた人が心地良く、ワクワクする体験ができる空間に生まれ変わらせることを目指します。

本プロジェクトの第1弾である駒沢大学駅のリニューアルでは、駒沢大学駅のステーションカラーでもある緑色の壁面タイルや、床材などの既存材を最大限活かした計画とし、廃棄物削減に取り組みます。また、空調設備改修では、コミッションング^{※1}の導入や、CBM^{※2}の推進による効率的な運用を行います。これらの脱炭素・循環型社会の実現に向けた施策により、改修後のCO₂排出量を年間約260t-CO₂削減します。

駒沢大学駅のリニューアルコンセプトは「UNDER THE PARK」とし、地域の憩いの場である都立駒沢オリンピック公園の最寄り駅として、公園とともにあるライフスタイルをイメージするデザインを取り入れ、広がりを感じられる空間を創出します。また、東口・西口に接続するビルや駅構内では、お客さまの利便性向上と、街の魅力を活かした駅機能・サービスの導入により、地域に開かれた新たな駅のあり方の実現を目指します。

また、駅設備・内外装の改修や、旅客トイレのリニューアルではベビーカーと一緒に入れる個室の整備、および西側へのエレベーター新設により、当社8駅目となるバリアフリー2ルート目を整備し、バリアフリーの一層の拡充を図ります。

当社は今後も、脱炭素・循環型社会への貢献および地域とつながる駅空間の実現に取り組むとともに、時代に即した社会価値の持続的な提供を目指します。

詳細は、別紙の通りです。

※1 コミッションング…建築物の設計・施工・運用の各段階において、建物オーナーが求めるCO₂排出量の削減等の建築設備性能を確実に発揮するよう、確認・検証・適正化するプロセス

※2 CBM(Condition Based Maintenance)…設備を常時監視し、故障の兆候が見られた時点で修理・更新する仕組み



▲ 駒沢大学駅リニューアルイメージ(左:コンコース、中央:ホーム、右:駒沢大学駅周辺地図)

【別紙】

■ 田園都市線地下区間5駅リニューアルについて

1. 田園都市線地下区間5駅概要

駒沢大学駅を含む田園都市線地下区間の5駅(池尻大橋駅・三軒茶屋駅・駒沢大学駅・桜新町駅・用賀駅)は、当社初の地下鉄である「新玉川線」として1977年に開業しました。新玉川線は、ステンレス車両や、各駅で異なるステーションカラーの導入、駅冷房等を考慮した駅づくりなど、当時としては先進的な地下鉄でした。



▲新玉川線開通式(1977年)



▲ 新玉川線 渋谷-二子玉川間開通(三軒茶屋駅)



▲ ステーションカラーの導入

2. 田園都市線地下区間5駅リニューアルコンセプト「Green UNDER GROUND」

田園都市線の路線カラーでもある「Green」には、「快適・安心」、「スムーズ」、「クリーン・サステナブル」、「親しみが生まれる」、「新しさがある」など、さまざまな想いが込められています。開業後40年以上が経過した田園都市線の地下区間5駅を、今まで以上に心地良く、ワクワクする体験のできる空間に生まれ変わらせます。

Green UNDER GROUND
心地良くてワクワクする地下駅体験を作りたい

▲ Green UNDER GROUNDロゴ



▲ 田園都市線地下区間5駅リニューアル対象駅

3. 新・中期事業戦略~3つの変革・4つの価値~に向けた取り組み

「Green UNDER GROUND」は新・中期事業戦略に掲げる3つの変革・4つの価値の実現を目指します。

2021年度

2023年度

2026年度~

Green UNDER GROUND

第1弾 駒沢大学駅リニューアル 着手

新・中期事業戦略

3つの変革

- ① 運行・駅サービス体系の変革
- ② テクノロジーを活用したオペレーション変革
- ③ 旧来からの慣習にとらわれない社内諸制度の変革

ESG経営・DXの推進

4つの価値

- ① 安全・安心・環境の更なる追求
- ② ユニバーサルなサービスの進化
- ③ 都市交通における快適性の向上と課題の解決
- ④ 人、街、暮らしをつなげるプラットフォーム

●東急 長期経営構想

●第1弾 駒沢大学駅リニューアル工事 竣工

■駒沢大学駅リニューアル工事 計画概要

- 事業主体 東急電鉄株式会社
- 建物名称 田園都市線駒沢大学駅・駒沢大学駅東口ビル・駒沢大学駅西口ビル
- 所在地 東京都世田谷区上馬4-3 ほか
- 工事内容 駅設備・内外装・旅客トイレの改修、エレベーター新設 など
- 設計・デザイン 東急電鉄一級建築士事務所・株式会社交建設計・UDS株式会社
- コミッショニング NPO法人 建築設備コミッショニング協会
- 着工 2021年7月30日(金)
- 竣工 2024年夏(予定)

1. 位置図



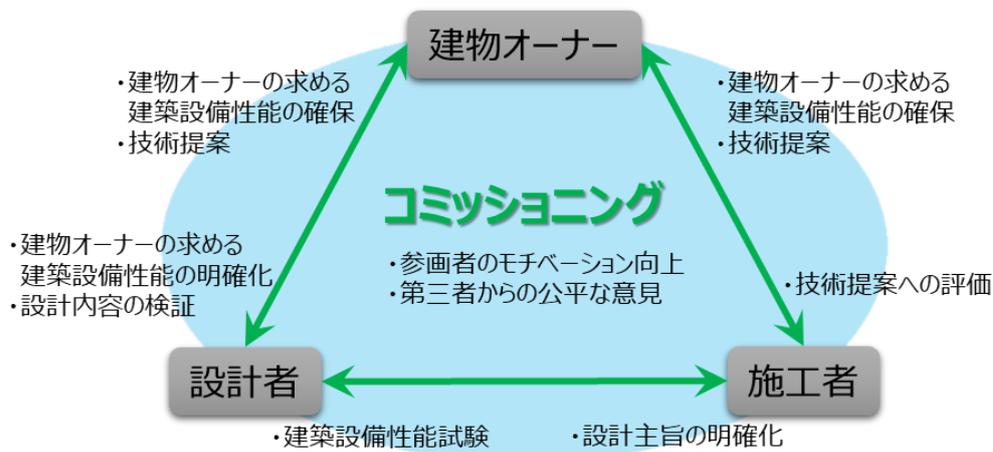
2. 脱炭素・循環型社会の実現に向けた施策

○既存仕上げ材を活かしたデザイン

壁面のタイルや床材など、既存材を最大限活かしたデザインとすることで廃棄物を削減します。

○コミッショニング

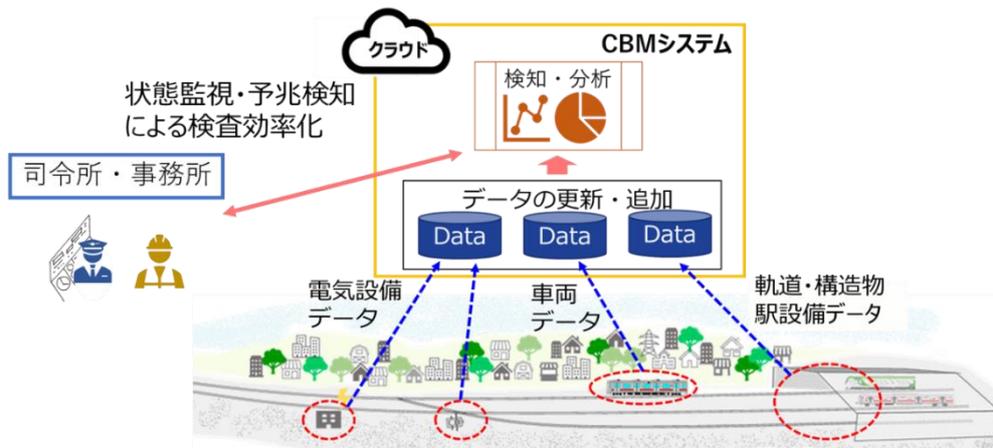
コミッショニングを導入し、当社が目指すCO₂排出量削減等の建築設備性能が確実に発揮されるように駅空調設備の改修を行い、脱炭素・循環型社会の実現に貢献します。



▲ コミッショニング概念図

OCBMの推進

センシング技術などを活用し、保守業務の改善や運転効率化を行う体制づくりによってCO₂排出量の削減を実現します。



3. 当社の脱炭素・循環型社会の実現に向けた取り組み

- ・南町田グランベリーパーク「LEED NC(新築部門)」「LEED ND(まちづくり部門)」ゴールド認証取得
<https://www.tokyu.co.jp/image/news/pdf/20200820-1.pdf>
- ・南町田グランベリーパーク「第40回緑の都市賞」受賞
<https://www.tokyu.co.jp/image/news/pdf/20201023-2-1.pdf>
- ・二子玉川ライズ「第25回地球環境大賞」受賞 <https://www.tokyu.co.jp/file/160229-3.pdf>
- ・えきもく、木になるリニューアル: <https://ii.tokyu.co.jp/withheart>
(「ウィズ・ハート ココロでまちをサステナブルに。」HP)



■参考

1. 田園都市線地下区間5駅リニューアル コンセプトプランナー

「スターパイロット 三浦文典」(<http://starpilots.jp/>)

大小さまざまな建築物の設計のみならず、日本各地のまちづくり、自治体の都市経営戦略サポートを行いながら、自らシェアオフィスやスタジオの経営も行うなど、多岐にわたる業務に取り組んでいます。



▲ 三浦文典氏



▲ にしあわくらほいくえん



▲ 道の駅ファームス木島平

「ONE INC. 富田光浩」(<http://www.one-inc.info/>)

商品企画から、ブランディング、パッケージデザイン、エディトリアル、広告、地方のプロジェクトなど、小さな仕事から大きな仕事までを幅広く。これまでの仕事に、MOS BURGER、ワコール、UCC、味の素、三菱地所 など。



▲ 富田光浩氏



▲ 文明堂東京



▲ 国立国際医療研究センター写真展

2. 田園都市線地下区間5駅リニューアル UX デザイン

「日建設計」

(<https://www.nikken.jp/ja/>)

建築の設計監理、都市デザインおよびこれらに関連する調査・企画
・コンサルティング業務を行う
プロフェッショナル・サービス・ファームです。



▲ 渋谷リバーストリート



▲ 二子玉川ライズ

3. 駒沢大学駅リニューアル工事 設計者

「交建設計」

(<https://www.koken-archi.co.jp/>)

「鉄道駅」を中心とした『交通施設』の設計・計画を中心に「公共施設・商業施設・教育施設」や、国内のみならず多くの海外鉄道プロジェクトにも参画しています。



▲ 東急池上線五反田駅高架下店舗



▲ カイロ地下鉄4号線

「UDS株式会社」

(<https://www.uds-net.co.jp/>)

事業性と社会性を実現するしくみ
＝「システム」で都市を豊かにすることを
目指し、国内外でまちづくりにつながる
場の企画、設計、施設運営を手がけて
います。



▲ SHIMOKITA COLLEGE



▲ Tote 駒沢公園

4. コミッショニング「NPO法人 建築設備コミッショニング協会」(<http://www.bsca.or.jp/>)

2004年に設立。建築設備の品質、
省エネルギー性、環境保全性の向上を
目指し、コミッショニングに関する技術者
育成、調査研究や教育・普及活動、なら
びにコミッショニング事業を通して社会貢
献活動を行っています。



▲ 京都駅ビル



▲ 長崎県庁

※写真は建築設備コミッショニング協会ホームページより引用

■いい街 いい電車 プロジェクトとは・・・

「いい街 いい電車 プロジェクト」とは、選ばれる沿線日本一に向け、沿線のみなさまと近くて良い関係「近イイ関係」を目指すプロジェクトです。駅がもっと身近になる活動を通して、愛着のある「いい街」と、いつでもどこでも安全に移動できる、安心・快適な「いい電車」の実現に向け、積極的に活動します。



以 上